

7・8月号のテーマは

No.40/2026.7

アオハルしちゃう夏

この夏をもっと楽しく過ごすために部活、恋、友情、推し活など、今しかできない青春＝アオハルがぎゅっと詰まった本を集めました。



『武士道シックスティーン』

誉田哲也／文藝春秋／913.6ホン

勝つことが全ての剣道エリート・香織と楽しむことがモットーの初心者・早苗。価値観が180度違う二人が剣道を通じて反発し合いながらも絆を深めていく青春スポーツ小説。この夏、自分自身を成長させたい人におすすめな本です。

『14歳、明日の時間割』

鈴木るりか／小学館／913.6 スズ

中学校を舞台に時間割に見立てた7つの短編集。恋や進路、友達関係に悩みながらも一生懸命に生きる少年少女の姿に、誰もが元気をもらえる青春群像小説になります。

『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む』

かまど／大和書房／019カマ

青春の夏は人生で数回しかない！暑い夏は涼しい屋内で読書にふけるのはいかが？本をよんだことのない大人が、初めて読書にチャレンジ。結果はまさかの感情がジェットコースター状態。この夏は読書で笑いあり、涙ありのアオハルにしよう。

『階段ランナー』

吉野万理子／徳間書店／913.6ヨシ

スポーツをがんばってた高校2年生の広夢と瑠衣は、それぞれの事情から活動をお休み中。ある日、退職したタクワン先生から京都の階段駆け上がり大会に参加してくれと頼まれて…。困難な状況の中で、相手を思いやり寄り添うことがどんなに力を与えてくれるかを感じられる本です。
恋×友情×スポーツ＝アオハル！！

『江戸時代のオタクファイル』

辛酸なめ子／淡交社／281シン

江戸時代にも、現代に負けない熱い推し活が存在していました。猫を溺愛し、猫だらけの浮世絵を書き続けた絵師や役者を推していたお姫様など。

可笑しくもアグレッシブな姿に今を楽しく生きるヒントを見つけられる本になっています。熱中することがある人はもちろん、これから何かを推す人にも手にとっていただきたい1冊です。

